

2022/4/20-3

(オマケの英語教室 bilingual) 書庫版



我が国では自分の学生時代から、例えば英語と日本語を話す人をバイリンガル(bilingual)と言ったり英語と日本語とフランス語を話す人をトリリンガル(trilingual)と言ったりしておりました。

最近ではその話者が若い女性である場合には更にバイリンギアル(bilin-gal)とかトリリンギアル(trilin-gal)と言ったりもしております。

長年にわたり又現在でも我が国では普通に使われている「英」単語なので、英語、ウルドゥー語、ヒンディー語を普通に喋る某国大学元英語弁論部出身の従業員に

Then a, you are trilingual

(じゃあ、君はトリリンガルだな)

と言った処よもやの逆質 (問)

What? Trilingual, what the meaning? I have no idea.

(えっ、何? トリリンガルって何の事? 分らない)

Ah, you don't know? Trilingual, no? It means 3 language speakers. In Japan we call them like this, although.

(えーっ、知らない? トリリンガル? 3か国語を話す人の事だよ。日本じゃそういう人の事、そう呼ぶんだ、けど)

そういえば今迄何か国語かを話す外国人さんには度々接してきましたが確かに彼らの誰一人からもバイリンガルだのトリリンガルだのと言った単語を聞いた記憶がありませんでした。

大抵の場合は上述の様に 2 language speakers や 3 language users とか言っていましたし、其れよりはもっと具体的に English and Japanese speaker とか English and Nepalese speaker と言っていた事の方が遥かに多かった事を思い出しました。

いやいや、基。

それどころか多言語国家出身の外国人さんは

「そもそもが、何か国語を喋るか等という発想や認識自体がまるでない様で、その場その場で必要に応じて必要な数の言語を使っているだけ。特段言語数をカウントしている訳では全くない」

様でした。

だとすると我が国で古より隆盛を極めている「バイリンガル、トリリンガル」と言った単語はどこからやってきたのか？

という疑問が湧いてきました。

「さてさてさて、不可解なる事人生の如し」

それで色々考えてみた挙句に、自分なりの想像から以下の如く推論いたしました。

若者向けのある雑誌記者が日本語の他に英語が喋れる若い女性にスポットを当てた特集を組もうとした。

しかし「英語を普通に喋れる今時の若い女子」

では長ったらしいしインパクトに欠ける。

更にはこの言い方だと英語が喋れる事を鼻にかけている感じがして反感を買いそうだ。

それでは読者数が増えないから企画自体に意味がなくなってしまう。

となれば是を短く言って尚且ついいイメージの覚え易い言葉はないか？勿論今迄にない奴で。

そこでこの雑誌記者さんは取り敢えず外大の英語科の教授の処へ赴き、意図を説明した後で

「先セ、何か打ってつけのいい言葉、おへんやろか？」

(その時代、つまり自分が学生だった頃の 1970 年代にはまだインターネットも google もありませんでしたので、まずは思いつく先の先セの処へ行ったのだと思われます)

すると先セは、しばらく考えた後にやおら

「バイリンガル。バイは 2 輪自転車 bicycle の bi で 2 を表すだろ。それに lingual=language をくっつけて bilingual で、どう？」

「それっ、先セ、其れでんがなあ。流石先セ。イケてまんなあ」

だった、とか？